

令和2年度 指定管理者制度モニタリング評価表

令和3年3月31日現在 (A)

1. 施設概要

施設名	尼崎市立社会体育施設（西御園町93番地の2/潮江1丁目15番3号/菜切山町20番地/三反田町1丁目1番1号/武庫之荘8丁目17番5号/食満2丁目1番1号）		
主な事業内容	尼崎市立社会体育施設の管理・運営業務		
指定管理者名	公益財団法人尼崎市スポーツ振興事業団	指定期間	H29.4.1～R4.3.31
施設所管課	教育委員会事務局 スポーツ推進課	所属長名	荻田 昭憲

2. 目標・指標

施設の設置目的	スポーツを愛好する市民に対するスポーツの実技指導、研修等を通じて、スポーツの推進を図る					
施設のありたい姿	住民が気軽に運動やスポーツを楽しむことができ、地域における健康づくり及びコミュニティづくりの場となるような施設					
指標	利用者アンケートによる満足度（％）					
目標	利用者アンケートによる「満足・とても満足」の割合を前年度比0.1ポイント増	H29	H30	R1(H31)	R2	R3(見込)
		95.5	95.2	95.3	95.6	95.7

3. 各項目における評価

項目		説明	評価
有効性	指定事業の実施	協定書や仕様書に定められた取組ができたか。	A
	自主事業の実施	指定管理者の提案による利用者満足度向上等のための自主事業を実施できたか。	B
	利用者ニーズの把握	利用者のニーズを把握し、事業実施や新たな取組に生かすことができているか。	A
	市民等の参画	施設運営や取組の実施に際して、市民や利用者の参画が得られたか。	A
	事業の効果	指定管理者が実施した事業に効果があったか。	A
	目標の達成度	施設における目標の達成度はどうだったか。	A
	パートナーシップ	市と指定管理者とがパートナーシップの下、協働して取り組んだか。	A
効率性	施設の保守管理	施設の保守、破損等の修繕を適正に実施できたか。	B
	経費削減・環境配慮の取組	経費削減や環境配慮につながる取組を実施しているか。	A
	利用率向上の取組	利用者増や収入増につながる取組を実施しているか。	A
	施設の経営状況	施設における経営状況が適正であるか。	B
	接遇・サービス	利用者に対する接遇やサービスが良かったか。	A
適正性	法令遵守	施設の管理運営や設備点検などが、法令等に沿って適正に実施されているか。	適正
	指定管理者の経営状況	指定管理を行っている事業者本体の経営状況が適正であるか。	適正
	危機管理	事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか。	適正
	備品・文書管理	備品や施設の管理運営を行う上で生じた文書等を適切に管理しているか。	適正
	従事者の育成	従事者に対する育成や研修が十分に実施されているか。	適正

評価の凡例 S・・・特に優れている。A・・・優れている。B・・・標準である。C・・・改善が必要である。
※適正性については、「適正」もしくは「改善要」のどちらかで評価する。

<評価する上で参考となるデータ、実績など>

- 新型コロナウイルス感染症の影響で施設が休館となったり、通常通りの教室開催が困難となったが、指定管理者が率先して感染症対策を講じ、安心安全な施設運営を行っている。
- 自主事業については、臨時休館や教室の定員削減を行ったため参加者数は前年度よりも減少したが、教室再開後は回復傾向にある。特に屋内プールで実施しているサルスースイミング教室については、学校のプール授業中止等の影響もあり、前年度とほぼ同等の利用者数まで回復した。
- (前年度対比回復率：健康づくり教室81.8%、サルスースポーツ教室90.9%、スポーツプラザ：88.4%、サルスースイミング教室98%)
- サンシビック尼崎の長寿命化計画や、(仮称)健康ふれあい体育館の建設計画等、市が推進する事業に対して積極的に協力を行っており、市との連携体制が構築されている。
- 施設の目標である「利用者アンケートによる満足度を前年度より0.1ポイント向上させる」について、令和2年度は0.3ポイントの増となり、目標を達成した。

4. 総評

施設所管課の所見

<実績・成果>

- ・新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）による休館・時短等の緊急時対応が迅速であり、適切な施設運営が行えている。
- ・市が推進する事業に対し、利用者への対応や施設の現状等、現場にいる職員の立場から意見を発出し、市との協力・連携体制が構築されている。
- ・子どもが運動を始めるきっかけとなるよう、指定管理者と協力して、新たに「子ども向けがんばりカード」の作成に取り組んだ。

<課題>

- ・感染症の今後の見通しが不透明ではあるが、施設の利用者回復に努める必要がある。
- ・令和元年度監査で指摘された課題について、引き続き市と指定管理者で協議をし対応する必要がある。
- ・利用者アンケートにおいて、施設の老朽化に対する意見が多数散見したため、計画的に施設の修繕等を行う必要がある。

<課題に対する改善の方向性>

- ・感染症対策を徹底し、利用者が安心して利用できる環境づくりに努め、そのPRを行う。
- ・市と指定管理者が協議する場を積極的に設け、互いに連携を図る。
- ・長寿命化及び（仮称）健康ふれあい体育館の計画を踏まえながら、施設の修繕等について計画を立てる。

指定管理者からの所見

<事業実施や施設管理を振り返って>

- ・感染症拡大防止対策により、令和2年4～5月は臨時休館、また令和3年1月14日～2月28日は午後8時までの利用時間短縮となったことから、利用・参加人数の減少により大幅な減収となった。対応策として「新型コロナ対策支援制度」を活用し、職員の賃金補償等に充てるとともに事業計画も大幅に見直した。
- ・利用者に安全・安心して施設を利用してもらうため、感染防止対策を講じ、利用者にも徹底をお願いしたことと、各事業の積極的なPR（チラシ配布・ポスティング等）により、全体的に利用・参加人数は回復傾向にあるが、感染症が収束するまでは、引き続き厳しい事業運営が予測される。
- ・各施設においては、設備の老朽化や備品の経年劣化に伴い故障や破損が散見されるが、補修や更新等迅速に対応している。なお、大規模な補修工事に係る費用負担等については、これまで同様に市と協議しながら対応しているが、サンシビック尼崎については、令和4年度実施予定である大規模改修工事（長寿命化工事）の計画を踏まえながら引続き取り組んでいる。

<市とのパートナーシップ(協働)を振り返って>

- ・感染症拡大防止対策、長寿命化工事計画及び、あり方検討会議等については、所属長と担当者を交えた協議の場を設けて、定期的かつ適宜に意見交換を行い、双方の考え方や方向性を共有しながら円滑な施設運営に取り組んだ。また、その他の事務全般についてもその都度連絡調整を行い、意思の疎通を図りながら進めている。
- ・令和4年度実施予定の長寿命化工事計画（大規模改修工事）、（仮称）武庫健康ふれあい体育館の新設等においては、より一層連携を密にし、改修・新設工事に関わる各所管課担当者を交えた意見・情報交換の場を積極的に設けていくことが望まれる。

双方の意見を踏まえた今後の方向性

- ・令和2年度については、感染症対策の緊急時対応や令和元年度監査に対する対応、また施設の長寿命化・新施設の建設等、今まで以上に市と指定管理者が連携する場面が多くあった。今後のスポーツ推進・市民の健康の保持増進にかかる施策について、施策評価を一括して行うなど、より一層事業団との連携を強化しながら推進していく。
- ・感染症の影響により利用者が減少し大きな減収となったが、指定管理者が率先して、感染症対策を踏まえた施設運営及び利用者への声かけを行っており、利用者は回復傾向にある。ただし、高齢者層の利用減少が顕著なため、ワクチン接種等の動向を鑑みながら、引き続き利用者回復に努める必要がある。
- ・利用者の満足度については、高い水準を保っている。引き続き、利用者のニーズを踏まえながら地域のスポーツ活動の拠点として活用されるような施設運営に努める。